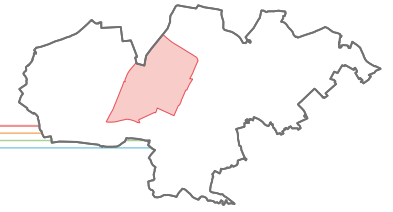




## 6 池袋西地域



### 1 地域の概況

#### (1) 位置

区の中央部に位置する池袋1丁目から4丁目、西池袋1丁目及び3丁目から5丁目の区域です。東側は池袋東地域、北側は池袋本町・上池袋地域、西側は高松・要町・千川地域と長崎・千早地域、南側は目白地域、北西側は板橋区に接しています。

#### (2) 変遷

江戸時代、大半が野菜類の生産を中心とした農村地帯で、天正年間（1573～1592年）の創建と伝えられる御嶽神社は防災・厄除けの神として信仰されていました。

明治36（1903）年に日本鉄道豊島線「田端～池袋」間が開通し、池袋駅が開設されました。明治42（1909）年に豊島師範学校、明治44（1911）年には成蹊実務学校（現成蹊大学）が開校しました。

大正時代になり、東上鉄道（現東武東上線）と武蔵野鉄道（現西武池袋線）が相次いで開通し、大正7（1918）年に築地の外国人居留地から池袋へ立教大学が移転してきました。また、関東大震災後には大きな被害を受けた下町地域から多くの人に移住し、宅地化が進みます。

しかし、戦災で地域の大半が被害を受け、昭和21（1946）年から戦災復興土地区画整理事業が実施されました。

昭和23（1948）年には、秋田雨雀らが西池袋に舞台芸術学院を設立しました。昭和29（1954）年、営団地下鉄丸ノ内線（現東京メトロ丸ノ内線）「池袋～御茶ノ水」間が開通し、昭和35（1960）年には、池袋は新宿、渋谷とともに「副都心」に位置づけられます。その後、昭和49（1974）年に営団地下鉄有楽町線（現東京メトロ有楽町線）が開通し、昭和51（1976）年から平成3（1991）年にかけて池袋2丁目付近の土地区画整理事業が実施されました。また、この間に東京芸術劇場やホテル、公共機関等が建設されて、商業、業務、文化・交流などの機能が集積しました。

平成20（2008）年に東京メトロ副都心線が開通し、平成25（2013）年には東武東上線、西武池袋線・

図表224  
昭和初期の東上線蒸気機関車



画像提供：東武博物館

図表225 池袋駅西口派出所前通り  
(昭和10(1935)年代)



写真でみる豊島区50年のあゆみより転載

有楽町線、東京メトロ副都心線・有楽町線、東急東横線及び横浜高速みなどみらい線の相互直通運転が開始されました。

### (3) 現状

土地利用は、池袋駅周辺で商業業務系の占める割合が高く、その他の地区では住宅地が広がり、平和通りなどの駅周辺の商店街が形成されるとともに、谷端川南緑道沿道や西武池袋線沿線などに木造住宅密集地域があります。

鉄道は、東側にJR、私鉄、地下鉄の各線が集まる池袋駅があり、西端には東京メトロ有楽町線・副都心線の要町駅があります。

道路は、池袋駅周辺の土地区画整理事業が行われた区域では道路網が整っていますが、その他の地区では幅員4m未満のものが多くなっています。

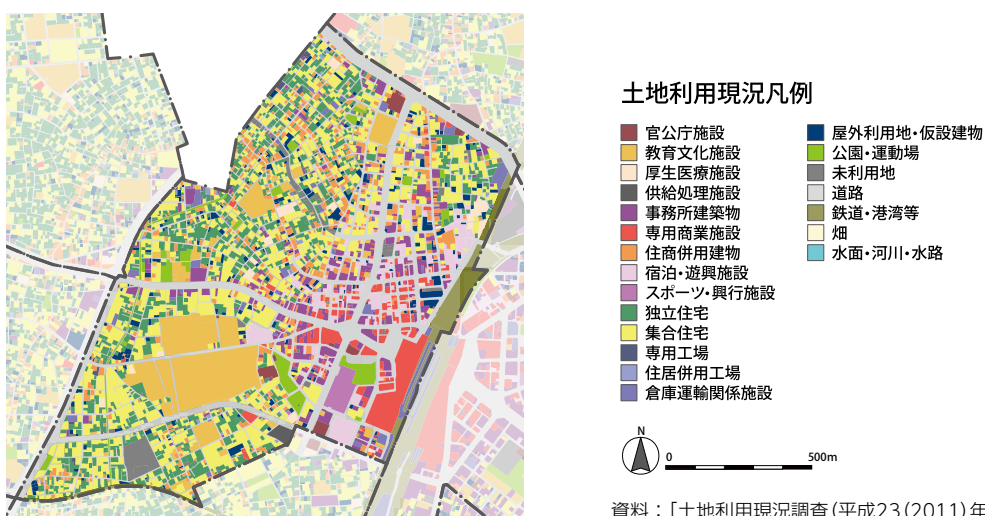
都市計画道路は、放射8号線（川越街道）、環状6号線（山手通り）、補助73号線（劇場通り）、補助78号線、補助172号線（西池袋通り）及び補助173号線（みたけ通り）が整備済みです。

図表226 地域の主要指標<sup>93</sup>

	豊島区 (a)	池袋西地域 (b)	割合 (b/a)		豊島区	池袋西地域
人口	284,678人	32,510人	11.4%	面積	1,298.5ha	151.8ha
0～14歳	22,225人	1,969人	8.9%	公共系	10.4%	11.2%
15～64歳	204,120人	24,306人	11.9%	事務所	4.5%	5.4%
65歳～	54,048人	5,550人	10.3%	専用商業	1.9%	4.3%
人口密度	219人/ha	215人/ha		宿泊・遊興	1.3%	3.8%
世帯	166,214世帯	20,810世帯	12.5%	住商併用	5.3%	6.1%
単身世帯割合	60.8%	68.0%		独立住宅	21.2%	12.7%
世帯人員	1.7人/世帯	1.6人/世帯		集合住宅	21.9%	20.6%
事業所数	17,911所数	3,404所数	19.0%	工業系	2.1%	2.3%
従業者数	252,786人	54,044人	21.4%	公園・運動場等	3.7%	2.4%
不燃化率	68.6%	80.4%		未利用地等	4.6%	4.9%
				その他	22.9%	26.4%

※人口（人）は、年齢不詳データがあるため、各区分人口を合計しても一致しない。

図表227 土地利用現況図



## 2 まちづくりにあたっての立脚点

第3章「豊島区の都市づくりにあたっての立脚点」及び地域特性に基づき、地域像、まちづくりの主な視点、地域の骨格となる拠点と軸の形成を示します。

### (1) 地域像

商業機能を中心に業務、文化、交流、娯楽、情報発信など都市機能が高度に集積したにぎわいと活力にあふれ、東京芸術劇場と立教大学が立地する芸術文化の舞台にふさわしく、新たな文化の発信と産業の創出を支える安全性の高い都市をめざします。



### (2) まちづくりの主な視点

#### ●首都機能の一翼を担う都市づくり

東京の魅力を支える商業や業務機能が高度に集積した池袋副都心では、帰宅困難者対策や災害情報提供体制等が整った災害に強く、訪れる人や就業者の安全性を確保する都市づくりが必要です。

#### ●東京芸術劇場と立教大学を中心に国内外の人々を惹きつける芸術文化の都市づくり

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催とその先を見据えて、文化・交流機能や教育施設の集積を生かして、国内外に芸術舞台の魅力を発信する都市づくりが必要です。

#### ●誰もがまちを楽しめる人に優しいまちづくり

池袋駅及び駅周辺の再生により、誰もが安全で快適に回遊できる、人に優しく、にぎわいの連続性が感じられるまちづくりが必要です。

#### ●スマートにエネルギーを利用するまちづくり

エネルギー利用の効率性が高く、災害にも強い自立・分散型エネルギーシステム<sup>49</sup>を備えたまちづくりが必要です。

#### ●アゼリア通りや立教通りから広がるみどりと景観のまちづくり

訪れる人や学生でにぎわうアゼリア通りや立教通りなどを生かして、みどりの潤いと個性ある街並みを創出するまちづくりが必要です。

図表228 地域資源図(池袋西地域)

# 池袋西地域



劇場通り



アゼリア通り



旧江戸川乱歩邸土蔵



立教大学



東京芸術劇場



画像提供：東京芸術劇場

	歴史・文化資源		公共公益施設		スポーツ施設
	旧道(名称)		医療機関(病院)		鉄道(JR)
	坂		大学		鉄道(東武、西武)
	寺社		教育施設		地下鉄
	花の名所(花の種類)		公園など		都電
	河川		街路樹		
	河川(暗渠)				



### (3) 地域の骨格

#### 【拠点】

#### ■池袋駅周辺を中心とした「池袋副都心」の形成

- 池袋駅周辺は、池袋副都心を形成する核に位置づけ、首都機能の一翼を担う商業、業務、芸術、文化、交流、娯楽、情報発信など多様な都市機能の高度な集積により、国内外の人々から選ばれる国際性の高い拠点を形成します。
- また、土地の有効利用や高度な都市機能の集積、防災性の向上、歩行者の安全性の確保、効率的なエネルギー利用とみどりの確保などを推進するため、大街区化<sup>29</sup>などの街区再編に取り組みます。

図表229 池袋駅西口



#### ■要町駅周辺を中心とした「生活拠点」の形成

- 地域の人々が活発に交流し、にぎわう生活拠点として、日常生活を支える商業、医療、福祉、子育て、教育など都市機能が集積する拠点を形成します。

図表230 要町駅



#### 【都市骨格軸】

- 環状6号線、補助73号線、アゼリア通り・補助78号線及び補助172号線は、都市の骨格を構成し、道路ネットワークの形成にとどまらず、防災、みどり、景観、環境、にぎわいなど、様々な機能を担う都市骨格軸として周辺地域との連携や交流を支えます。
- アゼリア通り・補助78号線は、にぎわいと交流の舞台となり、四季を彩るみどりと美しい街並みを形成する池袋副都心軸に位置づけます。

## 3 地域像を実現するためのまちづくり方針

第4章「目標を実現するための都市づくり方針」及び第5章「東京の魅力を支える池袋副都心の再生方針」に基づき、地域像を実現するためのまちづくり方針を示します。



### 高度な防災機能を備えた都市の実現

- 池袋駅及び駅周辺では、「池袋駅周辺混乱防止対策協議会<sup>80</sup>」に加えて、「都市再生特別措置法」に基づき、「池袋駅周辺地域都市再生安全確保計画検討部会」を設置し、東京都、区、事業者などの公民連携を強化し、帰宅困難者対策を含めたソフト・ハード両面からの総合的な災害対策に取り組めます。

- 帰宅困難者対策を含めた災害対策にあたっては、外国人などにも配慮した取り組みを推進します。
- 都市開発や建築物の更新の機会を捉えて、帰宅困難者対策に貢献する防災機能を誘導するとともに、災害時のエネルギーを確保するため、地域冷暖房施設やコージェネレーションシステム<sup>50</sup>、未利用エネルギー<sup>5</sup>など自立・分散型エネルギーの利用を促進します。
- あわせて、こうした自立・分散型エネルギーシステムのネットワーク化の検討などにより、エネルギー供給の安全性を高めます。
- 整備地域である池袋1丁目から4丁目は、建築物の建替えにあわせた狭あい道路の拡幅やすみ切りの確保、接道部の緑化、行き止まり道路の解消、オープンスペースの確保、建築物の不燃化・耐震化の促進などにより防災性の向上と住環境の改善を図ります。
- 立教大学周辺は、建築物の不燃化や耐震化を促進し、避難場所<sup>36</sup>としての機能を高めるとともに、そこに至る避難路の拡充等により、安全性を確保します。
- 救援センターに至る避難路の確保を図るとともに、その沿道建築物の耐震化などにより安全性を高めます。



## 人に優しい交通環境の構築

### ■池袋副都心の顔となる池袋駅及び駅周辺の再生

- 池袋駅では、鉄道事業者等による駅施設の機能更新を促進し、国内外から人々を迎え入れる東京北西部のターミナルにふさわしい駅と駅周辺の再編に公民連携して取り組みます。
- 池袋副都心としての一体性と防災性を高めるため、既存地下通路のバリアフリー化やサインの統一、地下通路出入口ではサンクンガーデン<sup>82</sup>の整備などを進めます。
- 東西駅前広場は、池袋副都心の玄関口として、人々が集う空間の創出、観光需要にも対応したバスやタクシー等の公共交通機関の施設配置の見直しとともに、周辺施設との連携により、訪れる人にとって魅力ある都市空間を形成します。
- 池袋駅東西連絡通路（東西デッキ）の整備とあわせた駅周辺の再生、西口駅前街区の再編と連携した周辺地区のまちづくりを推進し、池袋駅周辺の拠点性を高めていきます。
- 池袋駅や交通広場など交通結節機能を強化するため、関係機関や事業者と連携して、わかりやすいサイン表示や多言語対応、円滑な乗り換えの促進、必要な情報にアクセスしやすい通信環境の整備など、周辺のまちづくりと一体的に取り組むエリアマネジメント<sup>34</sup>を検討します。

図表231  
駅前広場のイメージ(有楽町駅)



### ■東西の交通軸の構築による回遊性の創出

- 線路上空を利用した池袋駅東西連絡通路（東西デッキ）を整備し、駅東西の活発な交流を促進するとともに、帰宅困難者の滞留空間や避難経路など災害対策に資する空間として活用します。
- 池袋駅及び東池袋駅と、池袋駅東口の豊島区本庁舎やHareza池袋、サンシャインシティと西口

の東京芸術劇場など主要な施設間のアクセスを強化するため、歩行者を優先する道路と文化芸術拠点などの周辺を結ぶ歩行者ネットワークを形成します。

- 高齢者、障害者、子ども、妊娠している人など誰もが利用しやすく、移動しやすい交通環境の実現に向けて、新たな公共交通システムの導入を検討・推進します。

### ■安全で快適な歩行者空間の創出

- 商業や業務施設が集積する駅周辺街区では、安全で快適な歩行者空間を創出するとともに、鉄道で訪れる人が地上に出やすいよう、駅前広場の歩行者空間の拡大や駅から連続する歩行者優先の道路を整備します。
- 平成30（2018）年4月に策定した「池袋地区駐車場整備計画<sup>83</sup>」に基づき、フリンジ（集約）駐車場<sup>84</sup>の整備や共同荷さばきスペースの確保、荷さばきルールの策定などを進め、常態化する路上駐車を解消し、歩行者が安全に回遊できる交通環境を創出します。また、令和2（2020）年3月に策定した「池袋地区駐車場地域ルール」を積極的に運用し、池袋駅周辺のまちづくりと連動しながら駐車施設整備の適正化を図り、歩行者優先のまちづくりを進めます。
- 幹線道路では、自転車走行空間が設置可能な区間において、歩行者、自転車、自動車それぞれの分離を図ります。また、幹線道路以外では、路上違法駐車の防止や歩道上の違法看板などの撤去を進め、道路の安全性を確保します。
- 避難路でもある立教通りでは、無電柱化による道路閉塞の防止や、歩道拡幅等により駅出入口から連続する安全で快適な歩行者空間を形成するとともに、豊島区初の環境モデル路線として、SDGsの理念を取入れ持続可能な社会生活を支援する環境基盤を整備します。
- 平成26（2014）年4月に重点整備地区に拡大し、改正バリアフリー法一部施行に伴い、平成31（2019）年4月に改定された「池袋駅地区バリアフリー基本構想」に基づき、池袋駅及び駅周辺のバリアフリー化を図るとともに、誰もが分かりやすいユニバーサルデザインによるまちづくりを進めます。
- 都市づくりビジョンで示した人に優しい交通環境の構築に向けた基本的な考え方に基づき、都市づくりの動向を踏まえながら、具体的な交通施策の検討を進めていきます。

図表232 自転車走行空間の一例  
(補助172号線)



## ライフステージに応じた良好な住環境の整備

- 池袋副都心区域の商業業務系複合地は、鉄道駅や商業、業務、文化施設などとの近接性を生かして、利便性の高い魅力ある都心居住を推進するとともに、日常生活を支える商業、医療、福祉、子育て支援などの機能が充実した安心して暮らせるまちをめざします。
- 池袋3、4丁目及び西池袋3、4丁目の商店街では、日常生活や人々の交流を支える商店街をめざします。



- 西池袋中学校周辺の低層住宅地は、みどり豊かで落ち着いたある街並みを維持・保全し、ゆとりと潤いを感じられる安全な住環境を形成します。



## エネルギー効率の高い低炭素型都市への転換

- アゼリア通り・補助78号線沿道は、都市開発や公園の再整備とあわせて、みどりの潤いと涼やかな風を感じることが出来る風の通り道を形成します。
- 都市開発の機会を捉えて、複数の敷地や街区単位での建築物の更新を促進し、地域冷暖房施設への接続やコージェネレーションシステム<sup>50</sup>をはじめとする自立・分散型エネルギーシステム<sup>49</sup>の導入を促進します。
- 太陽光発電や太陽熱など再生可能エネルギー<sup>51</sup>導入の促進や豊島清掃工場の排熱などの未利用エネルギー<sup>5</sup>の活用、既存の地域冷暖房供給エリアの拡大を検討します。
- 池袋の森など既存の公園とともに、都市開発や公園の再整備とあわせて、都市を冷やすクールスポット<sup>69</sup>の創出、遮熱性舗装などによる道路舗装の改善、建築物の省エネルギー化による人工排熱の削減など、ヒートアイランド現象の緩和に取り組みます。
- 区民、事業者、大学、NPOなどの多様な主体と協働し、環境学習の推進や省エネルギーの見える化などに取り組みます。
- エネルギー効率の高い低炭素型都市への転換を実現するため、「都市の低炭素化の促進に関する法律」などを活用した取り組みを検討します。

図表233  
地域冷暖房施設(ターボ冷凍機)



画像提供：西池袋熱供給株式会社



## みどりの回廊に包まれた憩いの創出

- みどりの拠点である立教大学を核に、みどりの骨格軸（池袋副都心軸）であるアゼリア通り・補助78号線により、既存の公園や都市開発により創出されたみどりをつなぎ、四季の彩りが感じられるみどりのネットワークを形成します。
- 劇場通りのケヤキ並木、放射8号線、環状6号線、補助73号線、補助78号線、補助172号線及び補助173号線は、街路樹の整備や沿道の緑化、オープンスペースの確保などにより、みどりの拠点や公園などを結び、連続性のあるみどりの軸を形成します。
- 大規模な都市開発や建築行為が行われる場合には、都市開発諸制度<sup>30</sup>や開発許可制度、みどりの条例による敷地内や屋上・壁面の緑化計画の届出制度などを活用し、潤いのある公園緑地や公開空地の創出など都市空間の質の向上に寄与するよう誘導します。

図表234 立教大学のみどり



画像提供：立教大学



- 池袋駅周辺を中心に、豊島区本庁舎周辺の南池袋公園、Hareza池袋と一体となった中池袋公園、東京芸術劇場と近接する西池袋公園をつなぎ、人々が集い、憩うみどりの回廊を形成します。
- 連続したみどりを形成する谷端川南緑道は、地域と協働して草花の植栽や維持管理、保全に取り組みます。
- 地域の団体や大学生などが協働して、公園や広場、公開空地に季節の花々やイベントにあわせた飾りつけを施し、都市のイメージを高める取り組みを促進します。

図表235 地域による緑化活動



## 個性ある美しい都市空間の形成

- 池袋駅及び駅周辺では、国内外の人々を迎え入れる池袋副都心の顔としての風格を備えた駅前空間を創出します。
- 池袋副都心軸であるアゼリア通り・補助78号線では、池袋副都心にふさわしい魅力ある街並みをめざして、商業機能の誘導によりにぎわいを高めるとともに、四季の彩りが感じられる潤いに包まれた景観を形成します。
- 立教大学本館や図書館旧館、立教学院諸聖徒拝礼堂など東京都選定歴史的建造物を地域の大切な資源として保全し、まちづくりに生かしていきます。
- 立教大学周辺は、「立教大学南地区地区計画」に基づき、池袋副都心に隣接する地域として、利便性の高い商業業務地と閑静な住宅地が調和したまちづくりを誘導するとともに、大学の雰囲気を生かした個性ある街並みをめざします。
- 東京よさこいやふくろ祭り、学生のにぎわいなど、活気ある人々の姿を生かした景観づくりを進めます。
- 連続したみどりを形成する谷端川南緑道や低層住宅地のみどりなどを生かして、潤いが感じられる景観づくりを進めます。

図表236 ふくろ祭り



## 文化を軸としたにぎわいと活力の強化

- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催とその先を見据えて、国外から訪れる人々を惹きつける文化を生み出すとともに、安心してまちを楽しめるユニバーサルデザインの都市づくりを推進します。
- 池袋副都心では、国際アート・カルチャー都市構想を実現する『まち全体が舞台の誰もが主役の劇場都市』づくりに取り組み、東京の国際競争力を高める拠点を形成します。

- 東京芸術劇場、庁舎跡地の東京建物Brillia HALL、あうるすぽっと、豊島区本庁舎、サンシャインシティを「文化芸術拠点」として位置づけ、拠点間のネットワークを強化します。
- 公園、広場などのオープンスペースは、パフォーマンスやアート展示などの舞台として活用するとともに、映画やドラマ、CMの撮影を積極的に受け入れ、都市全体で魅力を発信していきます。
- それぞれ特徴ある池袋駅東西のサブカルチャーと池袋モンパルナスの文化を結び、新たな交流を生み出し、人々の回遊性を高めていきます。
- フェスティバル/トーキョーをはじめとする国際的な舞台芸術イベント、新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館などの取り組みを通じて、多彩な文化や交流を育みます。
- 東京芸術劇場の周辺や補助73号線沿道などでは、芸術文化の彩りを感じられる個性的なショップなどの誘導を検討します。
- 新たな池袋モンパルナスの文化の創造とともに担う、高松・要町・千川地域や長崎・千早地域とそれぞれの個性を高め合いながら連携し、文化芸術のまちづくりに取り組みます。
- 「区と区内大学の連携・協働の包括協定」を締結した立教大学と連携して、まちづくり活動の参加などを通じた大学と地域、学生と住民の交流を促進します。
- 国際会議やビジネスで訪れた外国人がアフターコンベンション<sup>91</sup>を楽しめるよう、芸術・文化、エンターテインメント、情報発信などの機能や質の高い滞在・宿泊施設の誘導、夜間のライトアップ、プロジェクションマッピングなどによる魅力的な景観の演出などに取り組みます。

図表237  
フェスティバル/トーキョー



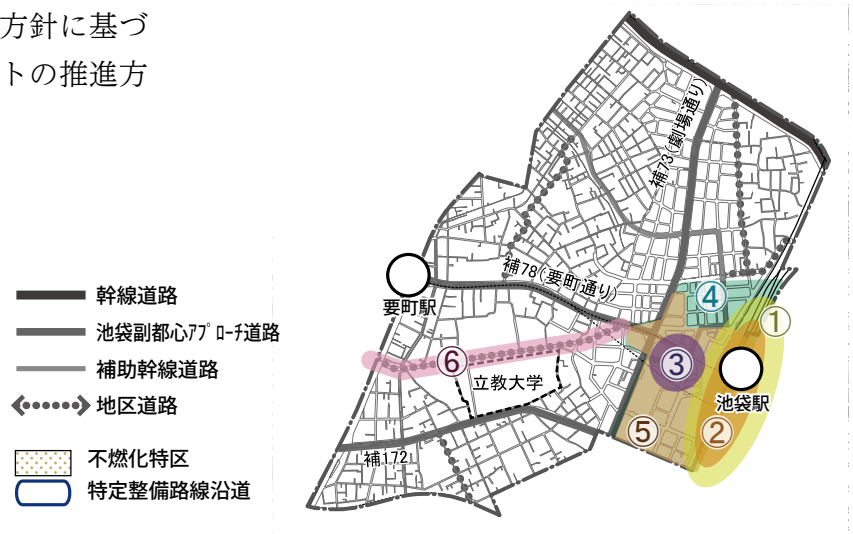
## 健康を支える快適な都市づくりの展開

- 池袋駅及び駅周辺では、鉄道や都電、バス事業者などの関係者と連携しながら、高齢者、障害者、子ども、妊娠している人、外国人などを含む誰もが安全・安心で快適に歩行できる空間を形成するため、ユニバーサルデザインによる都市づくりを推進します。
- 都市開発の機会を捉えて、子育てする人が育児と仕事を両立しやすい環境の形成に向けて、子育て支援や女性の健康づくり機能の誘導、育児スペースの設置などを促進します。
- 谷端川南緑道などは、四季の彩りを感じながら散策やジョギングなどを楽しみ、気軽に身体を動かせる空間としての整備を検討します。
- 高松・要町・千川地域や長崎・千早地域、南長崎地域と連携して、地域資源を結ぶ散策ルートの設定やフットパスマップ<sup>78</sup>を作成し、人々の回遊性を高め、健康づくりにもつながるまちをめざします。

## 4 主要な都市整備プロジェクトの推進

まちづくりにあたっての立脚点及び地域像を実現するためのまちづくり方針に基づき、主要な都市整備プロジェクトの推進方針を示します。

図表 238 主要な都市整備プロジェクト図（池袋西地域）



### プロジェクト ① 池袋駅の再生

- 池袋駅では、鉄道事業者等による駅施設の機能更新を促進するとともに、池袋副都心としての一体性と防災性を高めるため、既存地下通路のバリアフリー化やサインの統一などに取り組みます。
- 平成28（2016）年12月に策定した「池袋駅周辺地域都市再生安全確保計画<sup>81</sup>」に基づき、東京都、区、民間事業者などの公民連携を強化し、帰宅困難者の滞留空間や避難経路の整備、各建築物での避難経路や一時滞在施設<sup>53</sup>、備蓄倉庫の確保などエリア防災<sup>54</sup>対策を推進します。

### プロジェクト ② 「池袋駅東西連絡通路（東西デッキ）」の整備推進

- 「池袋駅東西連絡通路（東西デッキ）」を整備し、帰宅困難者の一時滞留や避難経路など災害対策に資する空間を確保するとともに、地下通路の整序化などによる安全性の向上に取り組みます。
- あわせて、池袋駅東西の歩行者空間の充実と回遊性の向上、鉄道の乗り換えの利便性を高め、快適な移動空間を形成します。
- 東西デッキに接続する駅施設、商業施設及びその周辺では、街区再編などを含む連鎖的な都市機能の更新を図ります。特に、先行する南デッキの整備とあわせて、新たな池袋駅南口の全体像について関係者と検討し、東池袋駅周辺との連携を強化する歩行者ネットワークの形成をめざします。

## プロジェクト

③

## 池袋駅西口駅前街区再編まちづくりの推進

- 池袋駅周辺の拠点性を高めるため、地域のシンボルである東京芸術劇場や池袋西口公園を生かしながら、街区再編による大街区化<sup>29</sup>を促進するとともに、都市開発諸制度<sup>30</sup>等を積極的に活用し、民間による都市開発と公共施設整備を連動させた公民連携によるまちづくりを推進します。
- 池袋駅と駅前街区の接続を強化し、安全・安心で快適に過ごせる駅前空間の創出に取り組みます。
- 多世代や外国人など多様な人々が芸術・文化を中心に交流や情報発信できる都市空間や機能を誘導し、新たな文化と産業を生み出すまちづくりをめざします。
- 駅前街区の再編にあたっては、周辺街区との接続や連続性に配慮した街並みを形成し、西口地区全体の再生を牽引するまちづくりを誘導します。
- あわせて、訪れる人だけではなく、周辺住民の生活を支援する機能や施設を誘導し、利便性が高く快適な都市環境を形成します。

## プロジェクト

④

## 池袋駅西口周辺まちづくりの推進

- 池袋駅西口駅前街区の再編と連携し、老朽化した建築物の更新や小規模街区の再編による土地の有効利用や防災性の向上、歩行者の安全性の確保などに取り組み、安全・安心なまちづくりを進めます。
- 池袋駅東西連絡通路（東西デッキ）に接続する商業施設及びその周辺などでは、民間による連鎖的な都市開発を誘導し、新たなにぎわいと快適な都市空間を創出します。

## プロジェクト

⑤

## 池袋駅周辺でのユニバーサルデザインの推進

- 池袋駅及び池袋駅周辺は、「池袋駅地区バリアフリー基本構想」に基づき、バリアフリー化を進めます。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催とその先を見据えて、令和元（2019）年6月に策定した「豊島区案内サインガイドライン」に基づき、多言語に対応した案内誘導システムの整備など、ユニバーサルデザインによるまちづくりを推進します。

## プロジェクト

⑥

## 立教通りの整備

- 立教通りでは、交通体系の見直しとともに歩道拡幅、無電柱化を検討し、歩行者の安全性と回遊性を高めるまちづくりに取り組みます。
- また、周辺の歴史的な建造物や植栽の特色を生かした道路景観や、雨水を利用したグリーンインフラの整備などを検討し、地域の環境を向上させます。



図表 239 都市整備方針図 (池袋西地域)



拠点	池袋副都心の核	交流拠点	生活拠点
軸	池袋副都心軸	池袋副都心軸	
	みどりの骨格軸	みどりの骨格軸	
	みどりの軸	みどりの軸	
土地利用方針	商業業務地	池袋副都心商業業務地	
		交流拠点商業業務地	
		生活拠点商業業務地	
	複合用途地	商業業務系複合地	
		幹線沿道型複合地	
		産業系複合地	
住宅地		店舗等併存住宅地	
		一般住宅地	
		低層住宅地	



道路	都電		荒川線
	高速道路		
	主要道路網		幹線道路
地区道路網		池袋副都心アプローチ道路	
		補助幹線道路	
みどり		公園、霊園、児童遊園等	
		公共公益施設	
		災害に関する協定を締結している教育施設	
		救援センター	
		避難場所	
	公共公益施設等		東京都防災都市づくり推進計画整備地域(重点整備地域、整備地域)